



新しい学習指導要領を意識した 地理的分野の授業展開

—世界各地の人々の生活と環境「乾燥した地域の暮らし」を例に—

東京都 板橋区立赤塚第二中学校 主幹教諭 中野 英水

1 はじめに

中学校での新しい学習指導要領の完全実施までいよいよ1年を切った。この完全実施を見据えて、今年度は、改めて新しい学習指導要領を見直し、その趣旨をくんだ移行期間の授業を進めることが重要であると考え。地理的分野では、「世界と日本の地域構成に関わる内容構成の見直し」「地域調査に関わる内容構成の見直し」「世界の諸地域学習における地球的課題の視点の導入」「日本の諸地域学習における考察の仕方の柔軟化」「日本の様々な地域の学習における防災学習の重視」といった5つの改訂の要点が示された。また、「地理的な見方・考え方を働かせて、課題を追究したり解決したりする学習活動を取り入れることも示された。あまり変化のない改訂といわれがちだが、詳しく見ていけば、大きく変化している。この大きな変化をしっかりととらえ、授業化することが望ましいと考える。今回は、本誌でこれまで実践的な提案の少なかった「世界各地の人々の生活と環境」を事例として、現行の教材を活用した移行期間における授業展開を紹介したい。

2 学習指導要領に示されていること

新しい学習指導要領にもとづく事例を考えるにあたり、まずは、学習指導要領の記載を見よう。『中学校学習指導要領（平成29年告示）

解説 社会編』（以下、解説）p.43～46をご覧ください。ここでは最初に、この大項目Bのねらいとして、以下の4点を挙げている。

- ・世界と日本の地域構成の学習の成果を踏まえる
- ・世界の多様な地域とそこに住む人々の生活を主な学習対象とする
- ・世界の諸地域の多様性や地域的特色を理解する
- ・世界の地理的認識を養う

これは、授業構成の大きな軸となるものであるため、授業設計をする際はこの4点を意識する。

そして次に中項目（1）の内容を見てみる。ここで最初に示されているのが、本中項目で働かせるべき地理的な見方・考え方である。ここでは、「場所」と「人間と自然環境との相互依存関係」が挙げられている。授業展開では、発問によってこの2つを働かせるよう工夫する。社会的な見方・考え方については、解説の第1章の「2 社会科改訂の趣旨及び要点」及び、地理的な見方・考え方については第2章第2節「1 地理的分野の目標、内容及び内容の取扱い」の（1）目標に詳細な記載があるので、ぜひご覧いただきたい。

中項目（1）の内容を、簡単に示すと、以下のようなになる。

課題を追究したり解決したりする学習

→知識及び思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるよう指導する。

ア 身に付ける知識

（ア）人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解する

段階	●学習活動	◆指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ●本時の対象とする地域の位置を地図帳や地球儀で確認する。 ●本時の対象とする地域はどのような場所かを、景観写真や雨温図などの資料から読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆乾燥した地域の特徴（草木が生えない、砂漠が広がっている、ラクダを飼っているなど）を読み取らせる。 ◆降水量が極めて少ない（水がない）ことを確認させる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ●乾燥した地域での生活（衣食住）を考えて発表する。 ●この地域で生活するために最も必要なものは何か、またそれをどのように得ているのかを考える。 ●地図帳 p.40の図⑥を見て、乾燥した地域の伝統的な工夫を知る。 ●地図帳 p.40の図⑦を見て、乾燥した地域の現在の工夫を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分たちの生活と比較し、相違点に着目させる。 ◆水が貴重であり、水を得るための工夫が地域の特徴となっていることに気づかせる。 ◆なぜ地下水路がつくられたのかを考えさせる。 ◆水を得るための現代の工夫についても考えさせる。 ◆新しい技術で、自然環境に影響を与えていることに気づかせる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●本時を振り返り、以下の2つの問いに対し、自分の言葉で回答する。 ・乾燥した地域での生活は、周囲の自然環境からどのような影響を受けているのか ・乾燥した地域での生活は、周囲の自然環境にどのような影響を与えているのか 	<ul style="list-style-type: none"> ◆人間と自然環境との相互依存関係について、人間側からと自然環境側からの双方向の視点で、その関係について考えさせる。

図1 乾燥した地域の暮らしの授業展開例と指導上の留意点

(イ) 世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する
イ 身に付ける思考力、判断力、表現力等
 (ア) 世界各地における人々の生活の特徴やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する

ここからは、人間と自然環境との相互依存関係や多様性について追究していくことが読み取れる。

次に、この中項目におけるねらいは、次のように示されている。

場所や人間と自然環境との相互依存関係などに関わる視点に着目して、世界各地の人々の生活が営まれる場所の自然的条件と社会的条件を関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成すること
 ↓
 世界の人々の生活や環境の多様性とそれらの相互依存関係を理解できるようにする

ここからも本単元では、人間と自然環境との相互依存関係や多様性が重要な視点となることがいえるだろう。

これらのことをふまえ、「世界各地の人々の生活と環境」より「乾燥した地域の暮らし」(『社会科 中学生の地理』(以下、教科書) p.20~21)を事例とした授業展開例を紹介したい(図1)。

3 授業展開例

導入では、まず対象地域であるアラビア半島の位置を、地図帳や地球儀で確認させることから始める。「対象地域は、地球上のどこに位置するのか」という発問は、**位置**という最も基本的である地理的な見方・考え方を働かせる発問なので、必ず問いかけたい。中学校での地理学習が始まったばかりの時期であるからこそ、位置の確認は大切である。また、地球上の位置から地域的特色を想像させることもできる。さらに、ここでアラビア半島に位置する国の名前にも着目させ、地域になじませる。

次に景観写真や雨温図を使って「この地域はどのような**場所**か」という問いに答えさせる。資料活用の技能を駆使してさまざまな特色に気づかせる。教師は、生徒の回答を整理しながら、アラビア半島の地域的特色をとらえさせていく。そして、いろいろな特色の中から一番生活に影響しそうな特色を考えさせ、水が極めて少ないという特色をクローズアップさせていく。

展開では、明らかとなった地域的特色をもとに、この地域での生活(衣食住)を連想させる。いろいろな意見が出てきたら、教科書 p.21④

～⑦の写真を見せ、「なぜ、このような生活になるのか」という発問を考えさせ、乾燥した地域の人々の生活を明確にしていく。

また、「この地域で生活するために最も必要なものは何か、また、それをどのように得ているのか」という発問から水の希少性を際立たせ、水に着目しながら人々の生活と関連づけていく。水を得るための工夫が考えられたら、『中学校社会科地図』（以下、地図帳）p.40図⑥を見せる。西アジアで伝統的にみられる地下水路の資料を見て、自分が考えたことと比較しながら地域の伝統的な工夫について理解させる。さらに「なぜ、地下水路なのか」という発問で、「暑くて乾燥している気候を考えて地下水路にしている」と連想させ、「人間と自然環境との相互依存関係」を働かせる。最後に、この地下水路が北アフリカではフォガラ、イランではカナート、中央アジアではカレズとよばれていることを紹介し、ほかの乾燥した地域にもみられる、一般的共通性をもった事象であることにも気づかせる。

次に、現在はどのような工夫があるのかを考えさせ、ここからは、自然環境に対する人々の生活の影響について追究していく。ここで再度地図帳p.40を開かせ、今度は図⑦を見せる。この図から、現代ではどのような変化が起こったのかを読み取らせ、砂漠で実用化する灌漑農業（センターピボット）を紹介する。ここでは教科書p.21の写真⑧を活用する。また、Googleマップでネフド砂漠を検索すると、ヨルダンとサウジアラビアの国境あたりにたくさんのセンターピボットのように映し出されるので、教室で提示するとよいだろう。また、同じくGoogleマップで「Al Kharkhir（アルハルキル）」を検索すると、ルブアルハリ砂漠のイエメンとサウジアラビアの国境付近にポツンと、ある開発された街が出てくる。砂漠の真ん中に突如街が表れ、スーパーマーケットや病院、そ

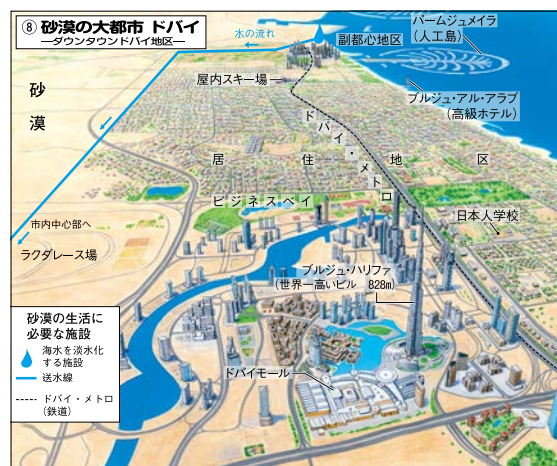
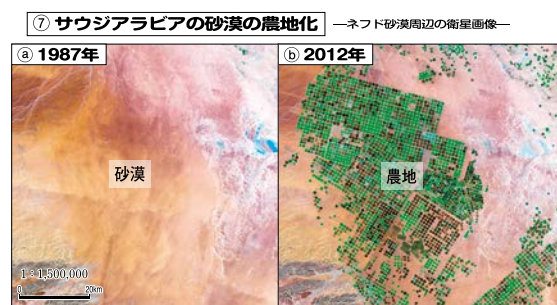
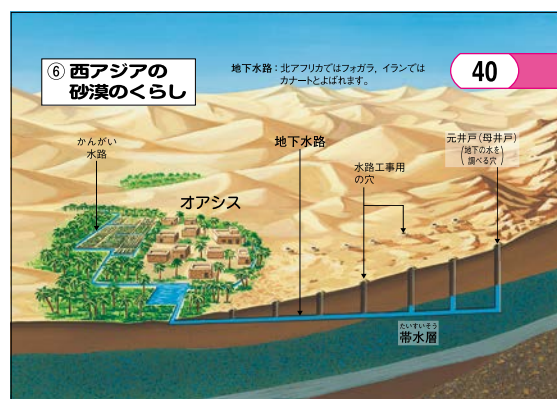


図2 「中学校社会科地図」p.40図⑥～⑧

して整備された道路や街並みが表れる。ここで生活を想像するのもおもしろいだろう。ルブアルハリとは「何もないところ」という意味があるそうだが、今は人間の手によって「何もないところ」に街がつくられ、人々の生活が営まれているのである。さらに、時間があれば地図帳p.40の図⑧でドバイの街並みを見せたい。海水を淡水化する施設を使って水をつくり、人々が砂漠を超近代都市に変容させた好事例である。ぜひ近代的な街並みの写真を見せたい。人々の生活は自然環境から影響を受けるだけでなく、大きな影響を与えていることを実感させることができる。このような学習活動を通して、

新しい技術で、人間が自然環境に影響を与えていることにも気づかせる。

そして、学習のまとめは、「乾燥した地域での生活は、周囲の自然環境からどのような影響を受けているのか」「乾燥した地域での生活は、周囲の自然環境にどのような影響を与えているのか」という発問に答える形で、学習の成果を自分の言葉で表現させる。

ここで、本時の評価であるが、学習指導要領の内容に記載されていることに照らして、「人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解できたか（知識）」、「世界各地における人々の生活やその変容をもとに、世界の人々の生活や環境の多様性を理解できたか（知識）」「世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し表現できたか（思考力・判断力・表現力等）」という基準でおおむね満足できる内容が、生徒のワークシートやまとめの課題に対する回答から見取ることができればB評価とする。

4 地球的課題やSDGsを意識して



新しい学習指導要領では「世界の諸地域学習における地球的課題の視点の導入」という改訂の要点が示され、地球的課題の具体的な例としてSDGsを挙げている。中項目（2）においてのことではあるが、世界の諸地域を扱う中項目（1）においても、SDGsの視点を含めていくことは、続く中項目（2）の展開につなげていくという点で重要だと考える。ここでは、事例として取り上げた乾燥した地域の暮らしの学習で、砂漠化という地球的課題を扱う展開例を示す（図3）。なお、砂漠化についてはSDGsのター

※乾燥した地域での生活を追究したのちに展開する。

●今、乾燥した地域では、砂漠化の進行が深刻です。以下の問いに答えましょう。

問1 砂漠化はなぜ起こるのでしょうか。

問2 砂漠化が進むと地域の人々の生活にどのような影響が出てくるのでしょうか。

問3 砂漠化の進行を抑えるには、どのような努力が必要でしょうか。

◆考察する中で人間が自然から受けた影響や人間が自然に与えた影響について探究させる。

図3 展開例

ゲット15-3に「2030年までに、砂漠化に対処し、砂漠化、干ばつ及び洪水の影響を受けた土地などの劣化した土地と土壌を回復し、土地劣化に荷担しない世界の達成に尽力する」（総務省仮訳参照）というものがあり、SDGsの視点に立って取り扱うことも有効だろう。また、砂漠化について学習できる単元は、アフリカ州のサヘル地域のほか、この項目くらいなので貴重な学習の機会であるかとも思う。

このほかにも、暑い地域や寒い地域の学習で地球温暖化による気候変動の影響を考えさせるのもよいだろう。いずれにせよ、中項目（1）では、「人間と自然環境との相互依存関係」という見方・考え方を働かせることが大切である。

5 おわりに

人々の生活には、その場所の自然環境が強く影響していることを、本稿を書く中で再確認した。生徒たちにも、同様の実感をもってほしい。しかし、人々の生活に影響を与えているものは自然だけではない。社会的条件に目を向けさせることも重要である。さらには人々の生活が、自然や社会に与える影響も大きいものである。こうした相互の関係を生徒たちにしっかりと考えさせることこそが重要だと考えている。

帝国書院の指導者専用サイトに、本授業研究のワークシートを掲載いたします。



(<https://www.teikokushoin.co.jp/members/>)